

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/01/10号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

世界経済の減速懸念織り込みで2023年スタート

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台前半まで下落する展開になった。昨年末にかけては短期需給のひっ迫見通しを織り込む形で底固い展開になり、80ドルの節目を回復していた。しかし、年初からは世界経済の減速、それに伴う石油需要環境の悪化リスクを織り込む動きが優勢になり、一時72.46ドルまで急落する展開になった。特段の新規材料は見当たらなかったが、2023年の世界経済の減速見通しを背景に、年初からファンドが景気リスクを織り込む動きを強めた。欧州の暖冬傾向もネガティブ。ただ、70ドル台全では値ごろ買いを入れる動きも見られた。

国際通貨基金 (IMF) のゲオルギエバ専務理事は1月1日、2023年は世界の多くの国・地域にとって「厳しい年」になるとの見通しを示した。米欧中の三大経済圏が同時減速していることに強い警戒感を示している。IMFは1月下旬に最新の世界経済見通し (WEO) を発表する見通しだが、経済成長率見通しを更に引き下げるのではないかと警戒感も強かった。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (12月30日時点) は、原油が前週比169万バレル増、ガソリンが35万バレル減、石油精製品が143万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

値ごろ感強い価格水準だが、景気減速懸念が反発力を限定

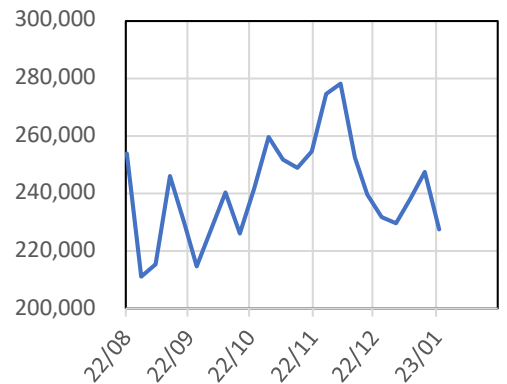
年末年始を挟んで世界経済の減速懸念に相場テーマがシフトし、上値の重さが残り易くなっている。漠然とした景気リスク、石油需要不安が上値を圧迫しているため、目先は70ドルの節目水準でサポートがみられるかに目線が切り下がる。株安やドル高圧力がみられると、瞬間的に70ドルを割り込むリスクも警戒される相場水準になっている。

中国では新型コロナウイルスの感染被害が続いているが、原油市場の評価は割れる。短期的な需要不安が上値を圧迫する一方、中国政府があくまでもゼロコロナ政策の見直しを進めていることで、中期的な需要拡大期待も強い。中国政府は7日、ゼロコロナ政策の正式な終了を発表している。感染被害の波が終息すれば、経済活動が一気に活発化すると期待感も強い。

昨年12月は、西側諸国のロシア産原油取引に対する上限価格設定、欧州連合（EU）のロシア産原油禁輸措置などを受けて、ロシア産原油の輸出減少が報告されている。これが年末に向けて原油相場を80ドル台まで押し上げる一因になっていたが、年初からは相場テーマから外れている。ただ、ロシア産の供給環境の混乱が続いていることなどが報告されると、早めに押し目買いが誘われ易くなる。

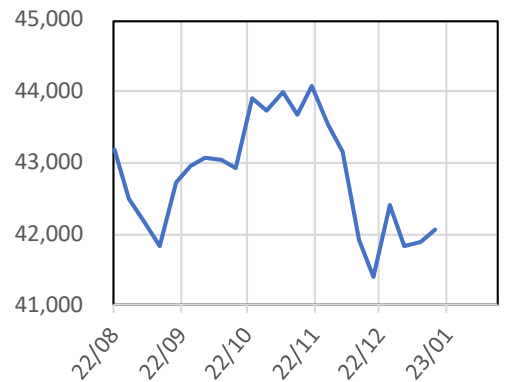
年初からは世界経済の減速懸念を織り込む動きが優勢のため、当面の反発余地は限定され易い。80ドル台回復から一段高を試すことは難しくなっている。ただ、石油需要環境の回復期待は強く、供給制約の強さから需給緩和状態のピークは脱したとの安心感は維持されよう。中期目線だと突っ込んだ局面は押し目買いの妙味があろう。年間の安値圏になる可能性が高い。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



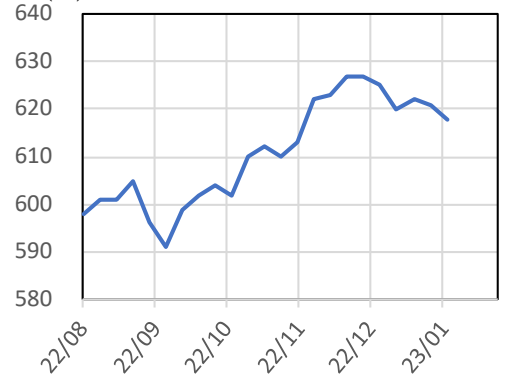
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

